

Special Issue 『卒業生レポート』

東学園を卒業された方のレポートを紹介いたします。高等専修ご卒業の小川えみさんです。東学園上級校である高等専修学校での学園生活の紹介もあります。素敵な学園生活を送られたことが文面から伝わってきます。それでは、小川さんのレポートをどうぞ!!

「私がかわったとき」 小川えみ 高等専修学校14期生 現在 東村山市大岱小学校勤務

高等専修学校に入学したとき、私には将来の夢と言えるような目標がありませんでした。

毎日、休まず学校へ行くこと。それが私の唯一の目標でした。

将来について考えるきっかけとなったのが、2年生の時に参加したボストン東スクールへの短期研修です。東スクールでは、授業を受けるのではなく、授業を受けている子供達のサポートをするという立場で学ばせていただきました。授業終了後は、併設された寮で暮らす子供達と一緒に時を過ごしました。

この経験を通して、子供達の日々の成長を手伝ったり、見守ったりするということに喜びを感じることができました。そして、小学校の先生になるという大きな目標を持つきっかけとなりました。

目標を叶えることは容易ではありませんでした。しかし、家族や友達、そして先生方に支えられ、大学受験、就職と一歩ずつ目標へと近づいていくことができました。

そして今、目標としていた小学校の先生となり、充実した日々を送っています。

高等専修学校では、短期研修の他にも様々な経験をさせていただきました。その一つが友愛会役員です。役員となったことで、人前で話をする機会がとても多くありました。また、行事へ取り組む機会も増えました。中学生の頃は、何事にも大して積極的に参加することがなく「誰かがやってくれるだ

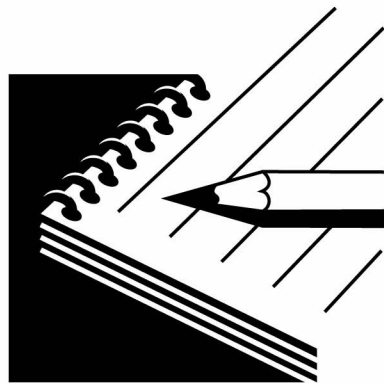
ろう。」と人任せにすることが多くありました。ところが、役員として話をしたり、行事へと取り組んだりすることを重ねていくうちに、人任せにして外から眺めているのではなく、実際に自分で考え、仲間と協力しながら活動することの楽しさを知ることが出来ました。同時に、協力することの難しさも知り、良い勉強となりました。

この経験が今、子供の前に立つときや、行事に取り組む際、また運営する際にとても役立っています。

私は高等専修学校での3年間を通して、様々な面で大きく成長することができました。中学校で不登校となってしまったことも、今では、良い経験であったと思えるほどです。

なぜなら、そういった経験をしていなければ、高等専修学校に通うこともなかったですし、目標をもつこともなかったでしょう。ところが、不登校となったことで、専修学校へと進学し、その経験を乗り越えることができました。そして、目標をもつことができただけでなく、自分自身を変えることができました。だからこそ今、私は笑顔で毎日を過ごすことができています。おそらく、これから先も、幾度となくいろいろな壁にぶつかることと思います。そのときも、良い経験だったと笑えるよう、その壁を乗り越え、頑張っていきたいと思います。

最後に、沢山の友達に支えられてきたこと、そして今も支えられていることを忘れることなく、これからも一日一日を大切に笑顔で過ごしていきたいと思います。



●編集後記

「私がかわったとき」高等専修卒業生の小川えみさんのお話はいかがでしたでしょうか？小川さんのお話の中で、最後の一文が印象的でした。「沢山の友達に支えられてきたこと、そして今も支えられていることを忘れることなく、これからも一日一日を大切に『笑顔』で過ごしていきたいと思います。」さあ、私たちも感謝の念を忘れず、笑顔で過ごしていきたいと思います！今号で今年度の連合後援会だよりは最終号となります。保護者および関係者の皆様一年間有難うございました。(O)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	石井	みどり	永井	登美子
中学校	野口	理恵	三上	知世子
小学校	内山	純子	寺島	直美
幼稚園	鎌谷	恵美	千保	久美子
高等専修	齋藤	良		
中学校	桑原	厚		
小学校	家住	隆士	北川	久一郎 大槻 敬



武蔵野東学園
連合後援会だより

発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 新35号 平成20年3月6日発行

武蔵野東学園 連合後援会だより



こんにちは!

お正月が過ぎ、毎日が長くなる実感しているうちに、いつの間にか年度末を迎えました。各園校の最終学年の保護者の皆さんは、お子様の成長を頼もしく感じていることでしょうか。それとも、「もうちょっと、このままでいてくれ〜」と思われているのでしょうか？後援会全ての皆さんで、この素敵な門出をお祝いしましょう!!では、今年度最終号をどうぞ! (O)

今日までそして明日から

「もうすぐ卒園」

上の子が年少で入園してから、間1年は私がコール東でお世話になり7年間、慣れ親しんだ幼稚園生活も残りわずかになってしまいました。

まん丸な顔に大きな口で一生懸命歌ってほしいちごケーキの歌、「はい、どうぞ」と、差し出された小さな手、今でもきのうのこのように思い出されます。そんな小さかった子供たちも年長になり、先日の発表会では、あの府中の森の舞台が狭く感じるほどの大きな演技に、これで卒園するのだと実感し、嬉しさと淋しさの混じった、複雑な思いでした。親子共々楽しく充実した日々を過ごせたのも、先生方をはじめ保護者の方々が、幼稚園を楽しく、心地よい場になるよう、色々な活動で頑張って来られたお陰だと思っています。本当にありがとうございました。

●幼稚園後援会副会長 柴草 睦

「感謝・・・」

6年前、中学を卒業する時、「東は最高だった」と長男が言いました。そして6年後の今年「東は最高」と次男が卒業文集に書いていました。親として子供に素敵な時間の贈り物をしてあげられたと思えました。どんな時も温かく見守ってくださった先生方・友愛の心をもった多くの友人にふれたからこそその言葉だったと思います。また、私自身、保護者の皆様に支えられ、励まされ多くのことを学びました。なかなか出来ない経験もさせていただき、一つひとつが大切な思い出となりました。東学園の先生方・保護者の皆様、ありがとうございました。

●中学校後援会副会長 村田昌子

巣立ちのとき

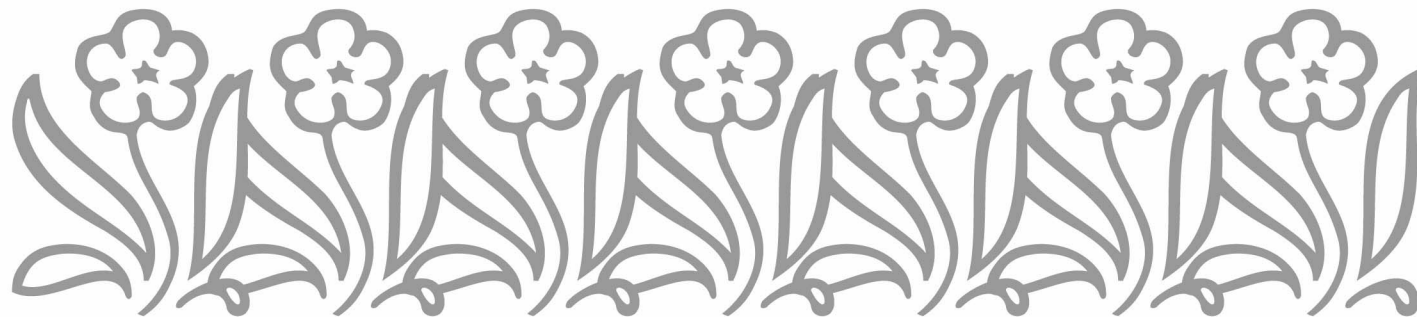
ぶかぶかのセーラー服に身を包みあどけない笑顔で小学校の門をくぐった娘も、幾度かの桜の季節に衣替えを重ね、いまびつたりセーラー服姿で巣立とうとしています。計画性がなくだらしない、ぎりぎりまで動かない・・・そんな私でしたので五年生からの大変な時期の後援会活動がつとまるとはとても思えませんでした。不安をよそに流れに身を任せるような形で心地よく楽しく参加させていただくことが出来たのも、はらはらしながらも見守り、全面的にご協力いただいた保護者の皆様、先生方のおかげと心より感謝しています。学園からいただいた温かい心の贈り物を胸に、今後の人生も楽しく歩んで行きたいと思っています。

●小学校後援会副会長 阿比留留美子

Thank you

♪東の先生方は生徒の味方、卒業しても待っているよ、心の故郷♪(四季の歌の替え歌)3月10日第20期卒業生保護者一同が心を込めて謝恩会で歌います。「残り少ないけれど親子でENJOYしましょう!だってHIGASHIだもんね!」と今年頂いた年賀状。最後に先日のボストン東のウェルカムパーティーでの一言で失礼します。My son is a student at Musashino Higashi Specialized High School. He is going to finish school soon. This 12 years at Higashi will stay us a happy memory. We love Higashi very much. Higashi forever and ever. Thank you (^o^)

●高等専修学校副会長 織井ひろみ



むらさき連合新年懇親会

今年も新年懇親会が、1月19日(土)に小学校の体育館をお借りして開かれました。

子供が、中学、高専と進学し、はるか幼稚園の懐かしい先生、小学校や中学校の、お世話になった先生方に子供の成長を報告できる嬉しさ。高専の先生に今の子供の問題を、膝を交えて話すからこそ伝えられる気持ち。普

段話したことのないお父さま方の子供にかかる熱き思い、視点の違う発見。本当に得るものの多い話をたくさん聞けました。

幼稚園の先生から順に、各園舎の先生方の紹介もあって、笑顔が溢れる時間はあっという間に過ぎました。設営から片付けまで、気持ちよく、手際良く、手伝ってくださる先生方に感謝一杯です。(高専むらさき代表)

学園を楽しむ保護者活動

母親コーラス コールひがし

コールひがしは発足して20数年、歴史ある合唱サークルです。毎週火曜朝10時から第二幼稚園のロビー奥で、指揮者大山和子先生とピアニスト陽雪江先生の下、楽しく練習しています。幼稚園行事に参加させていただくことが多く、かわいい年少さん対象のコンサートに始まり、七夕、クリスマス、涙の卒園迄…園児たちと共に季節の移り変わりを楽しめます。また、年に一

～二度、お揃いの衣装を身に纏い文化会館のステージに立つと…そこは非日常の世界。練り上げてきた歌声が客席で響く瞬間、緊張と共に達成感も味わえます。もうやめられません♪ 一緒に歌いませんか？
(部長・年中 丸山)



小学校ジョイディ～今年を振り返って、JoyDayは『喜びディ』!～ Joy Dayの開催が決まって以来、100を超える遊び企画が提案されました。どんな企画が子供たちにとって楽しいものなのか。どんな企画が実現可能なのか。どんな企画がJoy Dayにふさわしいものなのか。たくさんのお話し合いが持たれました。様々な意見が出されました。そして20あまりの遊び企画が行われました。

Joy Dayが始まって一年が過ぎました。今Joy Dayの姿が少しずつ見えきたような気がします。Joy Dayとは「学年とクラスを超えて子供と子供

が交流する日」、「東小学校という場で大人と子供が交流する日」、「笑顔の日」。Joy Dayには「笑顔」を作り出すJoy(喜び)と「笑顔」を見るJoy(喜び)もあるように思えます。(小学校K)

主な企画…巨大絵、宝探し、スリッパ飛ばし、大工仕事、PK合戦、料理教室、指編み教室、フラワーフォトフレーム作り、ダンボール秘密基地、コンピュータ教室、読書教室 etc

ボストン東スクールをお招きして

武蔵野東小学校・中学校後援会長 岩崎充利

華やかな東っ子の幼稚園・小中発表会も無事終わり、子供たちの成長に感動された事と思います。今年度も、小中発表会にはボストン東スクールからガーランド前理事長始め他多数のお客様に花を添えていただきましたことを大変嬉しく思っております。武蔵野東学園連合後援会では、毎年ボストンのお客様をお招きし歓迎会(ウェルカムパーティー)を発表会前日に北原記念館チャレンジショップにて行い、懇親を深めております。ボストン東との長い交流の歴史の中、9.11テロ事件より私たち後援会は、ボストンにお伺いすることを控えておりましたが、昨年夏、ボストン東20周年のお祝

いに、ボストン東開校時、ご尽力された学園の先生方、その家族と一緒に私たち後援会も訪問させていただきました。私は、今回の訪問で三回目になりますが、毎回毎回思うことは、東スクールの自然・敷地の広大さ。そのたびに、美しく変わっていく学校の変化に、感動をして日本に帰ります。

やはりそこは日本の東と同じ様に、ボストン東スクールの先生方の情熱。保護者の力強いバックアップであると感じています。

東学園後援会も皆様のご協力をいただき成長してまいりました。今後とも東学園発展のためご支援よろしく願います。



学園祭レポート

ゲゲゲの鬼太郎 妖怪横丁&ゲームランド

物より思い出!!子供たちの心の中に何かを残したい!!そんな思いから生まれた『ゲゲゲの鬼太郎妖怪横丁&ゲームランド』…まるで妖怪にとり憑かれたかの様に、お母さま方のパワーと才能が全開!日毎に誕生する妖怪の数々。

鬼太郎、ねずみ男、砂かけババア、ミイラにろくろ首に傘ばけ等々。遂には鳥居におみくじまでも。そしてゲームでは手作りの拳銃が大人気。子供たちの喚声と歓声…。日の暮れと共に、ようやくこの部屋にも静けさが戻りました。(小学校T)

中学校 ・おやじの店

メインは”手打ち蕎麦・うどん“です。父親たちがこの日ために修行を重ね、蕎麦は当日蕎麦粉から、うどんはこねて一晩寝かせたものを使用、当日”ゆでたて“を、さば節のつゆ、温かい「かけ」で提供。定番の焼鳥にシフォンケーキ、今年の新顔「揚げたてドーナッツ」も早々に売り切れとなりました。こだわりはゴミセンターの企画運営にも及び、今年も子供たちの笑顔と達成感に包まれたおやじ冥利につきる一日でした。(店長AK)



発表会 レポート 幼稚園 中学校

ほんの数年前の誕生時には、片腕にすっぽり収まる小さく頼りなげな命だった娘が、目の前の大舞台上で立派に胸を張って、ただひたすら精一杯に歌い奏で、無心に踊り演じる姿には、幾度も「ああ!このまましばらく時を止めていたい」と思い続けていました。そして、それはまた「子供は皆その幼児期までに、既に親孝行を終えている」と言う言葉が、しみじみと実感される親としての至福の瞬間でもありました。
(年長Y)

子供が四月に中学校に入学し、今回初めて発表会を見させていただきました。とても大きな舞台上、堂々と伸びやかに演技をする子供たちや、発表されるもののレベルの高さにとても驚きました。

また、今まであまり接することもなく、自閉症児のことについての十分な知識を持っていなかった私にとって、CDE組の皆さんの素晴らしい演技、一生懸命な姿には本当に感動しました。

このような舞台をご指導くださった先生方には、心より感謝致します。
(中学A)